長崎医療センター
NAGASAKI MEDICAL CENTER NEWS

専齋 SENSAI

2026 VOL.449

発行所
独立行政法人国立病院機構
長崎医療センター
〒856-8562
長崎県大村市久原2丁目1001-1
TEL 0957-52-3121
FAX 0957-54-0292



“アイランド・ナース”の三人です。詳しくは本文をご覧ください。

熊本地震活動報告

明日を担う Vol.30
- 松尾 真帆（5B病棟）
- 大川 翔吾（3A病棟）

TOPICS
- 諫早医師会協議会
- 考えてみよう!肝臓のこと

ガーデニングだより Vol.26

第5回NMC
インスタ映えフォトコンテスト

外来診療担当医一覧

長與 專齋（1838年～1902年）

大村藩御殿医の家系に生まれる。緒方洪庵の適塾に学び、福澤諭吉の後を襲い塾頭となる。初代衛生局長として我が国の近代医療制度の確立に尽力した。衛生という言葉をはじめて採用したのも專齋である。專齋の生家は「宜雨宜晴亭」と呼ばれ、長崎医療センター敷地内に移築されている。



熊本地震 活動報告

DMAT班一次隊 1チーム目
(R8.7.28-7.31)

救急科医長　増田 幸子

熊本地震に対し当院からはDMAT2隊が一次隊として出動し、両隊とも済生会熊本病院にて県央南活動拠点本部として医療ニーズ収集や病院支援調整を行いました。被災翌日は被災した医療機関でも備蓄にて対応可能という状態が多かったですが、翌々日は備蓄の枯渇による水や食糧の不足、特に猛暑かつ断水の影響もあり水の支援を要する医療機関が複数みられました。必要な物資や人材の支援ができるよう調整を行いました。撤収の際には熊本県内の病院から佐賀県の病院へ患者を搬送し帰院しました。被災された皆様が平穏な生活を取り戻されますことを心より願います。今回の派遣に関してご協力いただきました関係各所の皆様、誠にありがとうございました。

診療看護師　溝上 佳史

熊本地震の発生を受け、長崎DMATの一員として被災地で活動しました。活動拠点本部での活動は、被災した医療機関のライフラインや人的・物資支援のニーズを把握し、最適な部署へ繋ぐ役割を担いました。また、被災地の病院から佐賀県内の病院まで患者搬送を行い、移動中のバイタルサインの確認や被災者の不安に寄り添いながら、安全な搬送に努めました。

今回の活動で、災害看護は目の前の患者さんへのケアだけでなく、限られた情報から必要な支援を考え、多職種と連携して「必要な医療をつなぐ」ことも重要な役割であると実感しました。

事前の準備から多くの方々にご支援いただき無事に活動を終えることができました。何気ない日常が決して当たり前ではないことを改めて実感し、被災された方々に一日でも早く穏やかな日常が戻ることを心より願っています。

DMAT班一次隊 2チーム目
(R8.7.28-7.31)

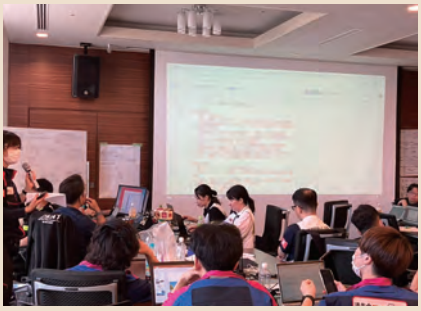
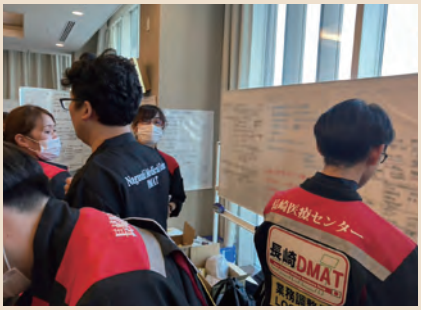
救急科医師　松尾 徳久

発災約10時間後に現地入りしました。今災害では広い地域で断水となり、猛暑下ゆえ飲料水や空調設備の確保による熱中症対策が急務でした。実際の業務としては各被災病院に連絡を取りどんな支援が必要かまとめたり、実際に診療機能を失った病院へ向かい、入院患者さんを安全な病院へ搬送する業務に携わりました。現地職員の方々はご自身やご家族が被災し余震が止まない中、患者さんのために尽力されておりその姿に深く頭が下がる思いでした。少しでもその一助になるべく、活動させていただきました。被災地域の皆様が一日も早く穏やかな日常を取り戻せますよう、心よりお祈り申し上げます。

薬剤師　永田 健太郎

私は2月に日本DMAT隊員となったばかりであり、正直、これほど早く出動するとは思っていませんでした。過去に能登半島地震で活動されたDMAT隊員の方々から、災害ごとに活動内容や求められる役割は異なると伺っていましたが、実際に活動を経験し、その言葉の意味を身をもって実感するとともに、臨機応変に対応することの大切さを学びました。活動終了時には疲労も感じましたが、チームで声を掛け合いながら無事に任務を終えることができました。後方支援をしてくださった皆様にも深く感謝しております。今後もDMAT訓練に積極的に参加し、「備えあれば憂いなし」の精神で日頃から準備を続けていきたいと思います。










DMAT班五次隊
（R8.8.9-8.13）

救急科医師　中原 知之

令和８年7月28日に発生した熊本地震に対し、長崎県DMATとして8月9日から13日まで熊本県宇城市で活動しました。宇城市社会福祉協議会に派遣され、住民からの瓦礫撤去の依頼などの電話対応、家屋調査への同行など、医療にとどまらない支援に携わりました。現地では、瓦が落ち、家具が倒れた家屋で生活を続ける方や、断水が続く地域もあり、被災後の日常を取り戻すことの大変さを目の当たりにしました。今回の活動を通じ、被災地で求められる役割を柔軟に担うこともDMATの重要な使命だと改めて感じました。被災された皆様が一日も早く穏やかな日常を取り戻されることを、心よりお祈り申し上げます。





医療班
（R8.7.30～8.1）

看護師　磯本 莉穂

私は地震発生３日目から初動医療班として参加し、主に熊本市内の病院での看護支援にあたりました。活動先ではスタッフ自身も被災され、ご家族や自宅の心配をされながらも、普段通りの看護を提供しようと尽力されているところがとても印象に残りました。

本部では情報が錯綜する中でも連携を取り合い、診療支援から施設支援、物資整理など様々なニーズに対応されており、平時から備えておくことの重要さを感じました。

災害派遣に際して応援してくださった職員の皆様の心遣いのある支援のおかげで活動を終えることができました。心より感謝申し上げます。

被災された方々が一日でも早く安心して日常生活に戻ることができるよう願っております。



医療班
（R8.8.1～8.3）

総合診療科医師　森 隆浩

このたびの令和8年熊本地震で被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。また、発災直後から地域を支えてこられた皆さまに敬意を表します。

私はこれまで、前回の熊本地震や能登半島地震でも災害医療派遣を経験してきました。過去の経験と比べても、今回の熊本八代地震で特に印象に残ったのは、対応の「速さ」です。発災4日目に現地入りした時点で、医療支援の仕組みが立ち上がり、被災病院では診療継続や患者搬送の判断が迅速に行われ、避難所も運営方針まで整っていました。これは、熊本県全体が日々の訓練に加え、前回の震災の教訓を一人ひとりが自分事として備えに生かしてきた成果だと感じました。熊本の姿から、私たちも日々の備えを自分事として捉え、いざという時に行動できる準備をしておくことの大切さを改めて感じました。









明日を担う Vol.30

当院の“明日を担う”スタッフに、
work、life、そしてvisionを語ってもらいましょう。

5B病棟

松尾（まつお） 真帆（まほ）

profile

出身地：佐賀県

好きなもの：旅行です。

Q：アイランドナースはどんな仕事ですか？

A：アイランドナースとは長崎医療センターや長崎大学病院などの大規模病院から五島や対馬の離島の病院へ看護師を派遣し、一定期間働く看護師のことです。私は離島に行ったことがなく、新しい経験や学びを得たいと思い昨年五島中央病院で勤務をしました。1年間で地域に根差した医療や人と人のつながりを学び、病院だけでなく地域全体で患者を支えることを学びました。休日は美味しいごはんと美しい自然でリフレッシュすることができました。



Q：アイランドナースの経験は生きていますか？

A：わたしは五島中央病院の地域包括ケア病棟という在宅や生活復帰のために支援が必要な患者が対象となる部署で勤務しました。そこでは退院後の自宅や施設での生活を細かく想定して他職種と連携し介入することが必要であり、今の治療だけでなく生活者として捉えることを学びました。医療センターに戻ってきて、患者さんや家族さんから入院前の生活背景を細かく聞くように心がけ、目の前の姿だけでなく総合的に捉えて考えるように意識するようにし気になることは専門職へ聞くなど、多職種連携の意識が強くなりました。



3A病棟
大川（おおかわ） 翔吾（しょうご）

profile
出身地：五島列島 福江島
好きなもの：サウナ・野球

Q：アイランドナースとはどんな仕事をしているのですか？

A：アイランドナースは、離島の医療機関で一定期間勤務しながら地域医療を支える看護師です。私は五島中央病院の外科病棟で勤務し、急性期から退院支援まで幅広い看護に携わりました。離島では医療資源が限られているため、一人ひとりの患者さんの生活背景や地域とのつながりを意識した看護が求められます。また、医師や多職種との連携も重要であり、病院内だけでなく地域全体で患者さんを支える視点を学ぶことができました。

Q：アイランドナースの経験は活きていますか？

A：アイランドナースでの経験は、現在の救命救急病棟での看護にも大いに活きています。離島では医療資源が限られているため、看護師自身が状況を的確に判断し、主体的に行動する力が求められます。その中でアセスメント能力や多職種との連携力を養うことができました。また、患者さんを単に疾患を持つ人として捉えるのではなく、地域で生活する一人の生活者として自然に捉える視点を学びました。退院後の生活や家族背景、地域とのつながりまで考えながら関わる経験は、現在の急性期医療においても患者さんを総合的に理解する上で大きな財産となっています。

Q：経験を積み重ねる中で、職場で見える視野や気持ちに変わる事はありましたか？

A：経験を積む中で、患者さんを見る視点が大きく変わりました。看護師になった当初は、疾患や治療、目の前の処置に意識が向くことが多かったように思います。しかし、アイランドナースとして離島医療を経験したことで、患者さんを「病気を持つ人」としてではなく、「地域で生活する一人の生活者」として捉えるようになりました。退院後にどのような生活を送るのか、どのような支援が必要なのかを考える機会が増え、看護の役割は治療を支えるだけではなく、その人らしい生活を支えることだと実感しました。この経験は現在の看護観にも大きな影響を与えています。



TOPICS

諫早医師会協議会

副院長　吉田 真一郎

令和８年７月２日（木）、ホテルグランドパレス諫早において、諫早医師会と長崎医療センターとの協議会が開催されました。当日は、諫早医師会の先生方と当院の各診療科を代表する医師らが一堂に会し、地域医療の充実とさらなる連携強化に向けて意見交換を行いました。

協議会では、当院院長髙山より「長崎医療センターの方向性について」の説明が行われた後、諫早地区との地域医療連携の現状や地域医療連携ツール「CAREBOOK」の導入、緊急時の患者紹介などをテーマに活発な意見交換が行われました。地域の医療機関と当院が互いの役割や課題への理解を深め、切れ目のない医療提供体制の実現に向けて、連携をさらに強化していくことの重要性を改めて共有しました。

協議会終了後の懇親会では、終始和やかで温かな雰囲気の中、活発な交流が行われました。日頃は電話や紹介状を通じた連携が中心となる先生方が直接顔を合わせ、診療や地域医療への思いを語り合うことで、互いの理解と信頼をさらに深める貴重な機会となりました。こうした「顔の見える関係」は円滑な医療連携を支える基盤であり、地域の皆さんに安心して医療を受けていただくことにもつながるものと考えております。



今後も地域の医療機関との連携を大切にし、地域の皆さんに信頼される医療の提供に努めてまいります。









TOPICS

考えてみよう!肝臓のこと

肝疾患相談員　川下 千尋

昨年に引き続き、今年も7月28日の世界肝炎デーに合わせて、啓発活動を計画しました。院外では7月21日～ 8月3日までの期間、ミライon図書館ギャラリーにてポスター掲示を行いました。院内では7月23日～ 8月3日までの期間、患者サポート室前にてポスター掲示を行いました。肝臓とはどんな働きをしているのか、肝疾患予防には何ができるのかなど、少しでも肝臓について考えるきっかけとなればうれしいです。新たに肝疾患相談支援センターのキャラクター：レバ美ちゃんも作っていただいたので、レバ美ちゃんと共により多くの方々に興味や関心を持ってもらえるよう、今後も働きかけていきたいと思います。些細なことでも不明なことなどありましたら、いつでもご連絡お待ちしております!



ガーデニング便り

Vol.26

今回紹介するのは、「ケイトウ」です。夏の庭を鮮やかに彩ってくれるケイトウ。名前の由来は、花の姿がニワトリの「鶏冠(とさか)」に似ていることから名付けられたそうです。赤や黄色、オレンジ、ピンクなど色彩豊かで、暑さにも強く、夏のガーデニングにはぴったりの花です。ふわふわとした独特の花姿も魅力のひとつ。草陰から除く赤い三角帽子がガーデニングの妖精のようです。

副院長　黒木 保



思わずパシャリ!

第5回 NMC

インスタ映えフォトコンテスト



長崎医療センタースタッフに、
インスタ映えする写真を募集しました！
スタッフから多彩な写真が集まりました。

1位

「高揚の秋」

Photo by 薬剤部 K・N



1位受賞者のコメント

昨年の11月に普賢岳の頂上で撮影した1枚です。秋晴れの中、美しい紅葉が見頃で気分も高まりました。



2位

空と線路の交差点

Photo by 事務部 Kyonjirobu



3位

元気な休日の過ごし方。

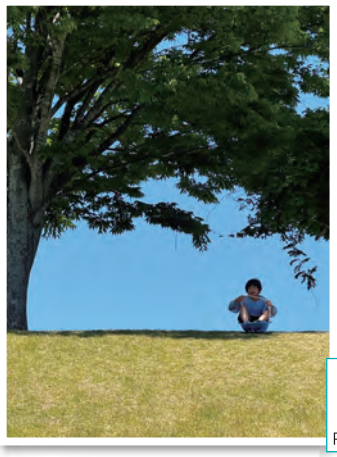
Photo by 地域医療連携室 ダブハチ子



4位

夜に咲く

Photo by 医局 どみぃ



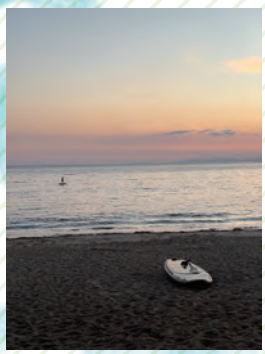
5位

初夏

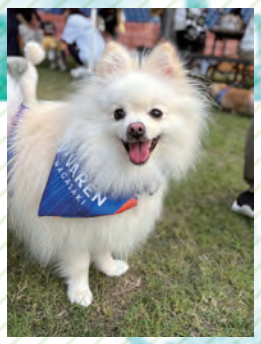
Photo by 7B あいあい

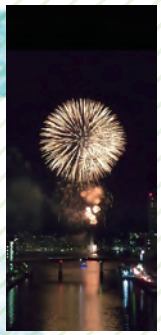




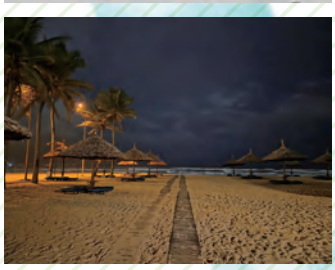


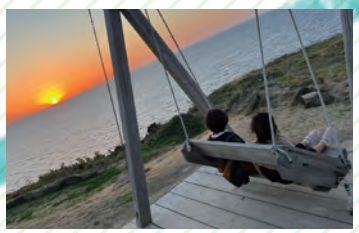
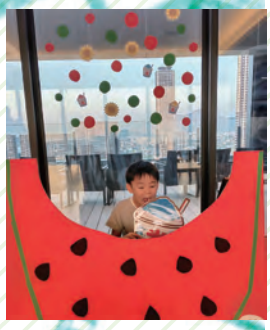
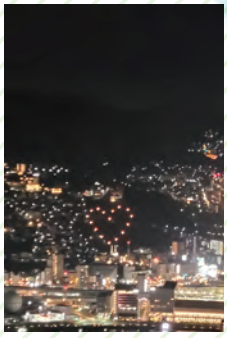
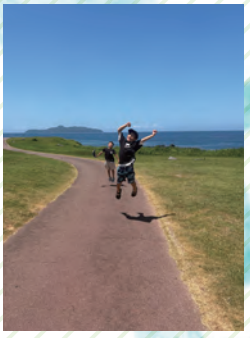
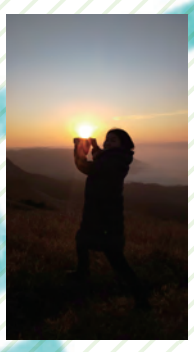


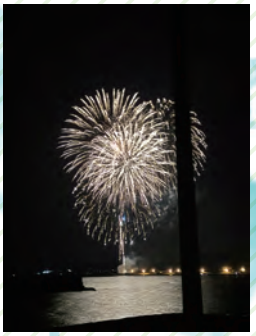



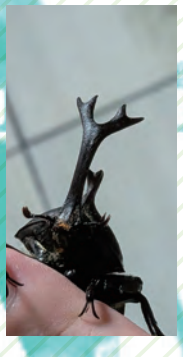













たくさんのステキな
写真が集まりました！
ご参加いただき
ありがとうございます♪



外来診療担当医一覧表

受付時間　8時30分～11時30分（ただし急患はその限りではありません。）

（★は新患対応）令和8年10月1日現在

		月	火	水	木	金
総合診療科		当番制	当番制	当番制	当番制	当番制
肝臓内科		★長岡　進矢 ★末廣　智之 ★嶋倉　茜 山﨑　一美	★佐伯　哲 ★末廣　智之 ★釘山　有希	★小森　敦正 ★山﨑　一美 佐伯　哲	★長岡　進矢 ★本吉　康英 ★小森　敦正	★本吉　康英 ★釘山　有希
消化管内科		★西山　仁	★後藤　高介 ★峯　彩子	午前　★西山　仁 午後　★中島　悠史郎 （炎症性腸疾患 専門外来）		★中島　悠史郎 （炎症性腸疾患　専門外来） ★今村　祥子
内分泌・代謝内科		★野崎　彩 ★松本　圭祐 徳満　純一	★徳満　純一 野崎　彩 松本　圭祐	★野崎　彩 徳満　純一	★徳満　純一 ★松本　圭祐 野崎　彩	
腎臓内科		★岡　哲 井上　大		岡　哲 ★伊福　康平	井上　大	★井上　大 伊福　康平
循環器内科	午前	★小出　俊朗	★百岳　龍平	★森　彩	★松尾　崇史 石松　卓（不整脈）	★深江　貴芸
	午後	★島　千波	百岳　龍平	於久　幸治	★石松　卓（不整脈）	
呼吸器内科		★原　敦子 池田　喬哉	★川嵜　光一	近藤　晃 ★池田　喬哉	★乗富　大地	★近藤　晃 原　敦子
血液内科		午前　小林　裕児 午後　★渡辺　春香	★今泉　芳孝	吉田　真一郎	午前　今泉　芳孝 午後　★小林　裕児	午前　吉田　真一郎 午後　★桐野　祐子
脳神経内科（神経内科）		当番制	当番制	当番制	当番制	当番制
膠原病・リウマチ内科		★岡田　覚丈		★岩永　希	★岩永　希	午後　★岡田　覚丈
小児科	午前	★本田　涼子（神経） ★桑原　義典（心臓・一般） ★西口　奈菜子（神経・一般） 武田　敬子（新生児・乳児） 黒岩　かほり（新生児・乳児）	★本村　秀樹（心臓） ★石橋　洋子（心臓・一般） ★池田　英史（心臓・一般） 田中　茂樹（神経） ★泊　由里子（一般） ★西口　奈菜子（神経）	★青木　幹弘（新生児・乳児） ★本田　涼子（神経） ★和泉　啓（内分泌） ★桑原　義典（心臓・一般） ★泊　由里子（一般） 食物アレルギー外来	★西口　亮（新生児・乳児） ★石橋　洋子（心臓・一般） ★石川　太郎（一般） ★佐藤　美悠（神経・一般）	★青木　幹弘（新生児・乳児） ★池田　英史（心臓・一般） ★石川　太郎（一般） 本村　秀樹（心臓） 安　忠輝（神経）
	午後	発達外来	★本村　秀樹（心臓）	一ヶ月健診 ★大学医・当番医（内分泌）	発達外来	シナジス外来
皮膚科	①外来紹介・新患	★石川　博士	★中牟田　瑠璃 （第4週以降休診）	★石川　博士 午後　★宿輪　哲生	★中牟田　瑠璃 （第4週以降休診） ★冨野　千愛（第4・5）	★濱辺　真奈
	②旧患	中牟田　瑠璃 （第4週以降休診）	石川　博士	濱辺　真奈	石川　博士	中牟田　瑠璃 （第4週以降休診）
	③入院中の紹介	濱辺　真奈	濱辺　真奈	中牟田　瑠璃 （第4週以降休診）	濱辺　真奈	石川　博士
外科		★黒木　保（肝・胆・膵） 山下　万平 （胆・膵・一般外科） ★小坂　太一郎（小児外科） （長崎大学病院、第1・3午後）	★米田　晃 （食道・胃・一般外科） ★福井　彩恵子（一般外科） ★南　恵樹（乳腺・内分泌外科） ★森田　道（乳腺・内分泌外科）	★釘山　統太（肝）	★米田　晃 （食道・胃・一般外科） ★南　恵樹（乳腺・内分泌外科） ★森田　道（乳腺・内分泌外科）	★竹下　浩明 （大腸・肛門） ★大石　海道（大腸・肛門） 藤岡　ひかる （肝・胆・膵・消化器）
呼吸器外科				★田川　努 ★松本　理宗		
心臓血管外科				★有吉　毅子男 ★谷川　陽彦		★有吉　毅子男 ★谷川　陽彦
脳神経外科		★小野　智憲 ★原口　渉	★案田　岳夫	★定方　英作	午後　原口　渉	★小野　智憲 ★吉村　正太
整形外科・リハビリテーション科		★山口　雄一	★宮本　俊之（第1・3・5） （再 第2・4） ★梅木　雅史（第2・4） （再 第1・3・5）	★前田　純一郎 ★津田　宗一郎	★糸瀬　賢	
形成外科		★熊本　万由子（第4） ★巖水　舞（第1・3）	★熊本　万由子（第1・3） ★巖水　舞（第2・4）	★古賀　一史	★熊本　万由子	★古賀　一史 ★巖水　舞（第2週休診）
産婦人科		★古賀　恵 ★福田　雅史 プレコンセプション外来 ワクチン外来	★安日　一郎 ★山下　洋 胎児スクリーニング外来	★菅　幸恵 ★杉見　創 産褥1ヶ月検診（午後）	★五十川　智司 ★山口　純子 子宮鏡外来 ワクチン外来	★福田　雅史 ★小川　真幸 レジデント外来 NIPT 外来
泌尿器科		★大仁田　亨 ★鹿子木　桂	錦戸　雅春 松屋　福蔵	★上田　康史	★鹿子木　桂	★大仁田　亨 ★武藤　大祐
移植後フォローアップ外来		錦戸　雅春	錦戸　雅春	錦戸　雅春		大仁田　亨
耳鼻咽喉科		★田中　藤信 ★吉田　晴郎 ★神田　悠志	★吉田　晴郎	★田中　藤信 ★前田　耕太郎 ★神田　悠志	★塚本　愛麗子	★田中　藤信 ★前田　耕太郎
眼科		★前川　有紀 ★中尾　志郎 ★田島　遥香 ★大槻　早紀 ★古田　彩子	★前川　有紀 ★中尾　志郎 ★田島　遥香 ★大槻　早紀 ★古田　彩子	午後　中尾　志郎	★前川　有紀 ★中尾　志郎 ★田島　遥香 ★大槻　早紀 ★古田　彩子	★前川　有紀 ★中尾　志郎 ★田島　遥香 ★大槻　早紀 ★古田　彩子
放射線科（治療）		本多　功一 武田　達哉	★本多　功一 ★武田　達哉 中村　太祐（午前のみ）	本多　功一 武田　達哉 中村　太祐（午後のみ）	本多　功一 武田　達哉	★本多　功一 ★武田　達哉

※紹介状なしで受診を希望される患者さんにつきましては、診察料とは別に、選定療養費として7,700円をご負担いただきます。
ただし、紹介状がある場合は選定療養費（7,700円）の負担はありません。「かかりつけ医」等からの紹介状をお持ちいただきますようお願いいたします。

理　念

高い水準の知識と技術を培い
さわやかな笑顔と真心で
患者さん一人一人の人格を尊重し
高度医療の提供をめざす

長崎医療センターの使命

長崎医療センターは以下の活動を誠実に行い、地域拠点病院として住民の皆さんと医療機関からの信頼を得ることを使命としています。

- 安全で質の高い医療を提供する
- すべての医療人と学生に魅力的な教育研修を提供する
- 救急医療の最後の砦となる
- 臨床研究を推進し、国際医療協力に貢献する
- 地域の医療機関、行政と密接に連携する

外来担当医一覧の最新版はこちらからご覧ください

長崎医療センター NEWS
NAGASAKI MEDICAL CENTER NEWS
https://nagasaki-mc.hosp.go.jp/
VOL.449